

今昔物語

その36

相野谷橋

大里地区



昭和30年ごろ撮影

写真：産屋敷明正氏 撮影



現在

今回は、新宮市の産屋敷明正あきまささんからご提供いただいた「相野谷橋」の写真をご紹介します。

この写真は、昭和30年ごろに撮影されたもので、写真ではわかりにくいかもしれませんが、木造の橋でした。紀宝町誌によると、相野谷橋は、明治29年に木造で架橋され、流出や腐朽による数度の取り替えがあり、昭和44年に現在のコンクリートの橋になりました。

産屋敷さんにお話を伺ったところ、木造の橋は、腐りやすく所々補修しながら利用していたそうです。また、写真には橋を歩いている人が見えますが、幅は現在より狭かったものの、当時から車も通っていたとのこと。

また、当時はこの橋の下付近の川でよく遊んだり、お風呂代わりに汗を流していたそうです。

— 昔の風景写真を大募集！ —

広報きほうでは、みなさんのお宅に眠っている昔なつかしい風景写真を募集します。本人またはご家族が撮影された、著作権を完全に保有されているものに限って、受け付けさせていただきます。このコーナーでご紹介させていただこうと思っています。詳しくは、役場企画調整課（☎33-0334）までお問い合わせください。

つむらびや

資料館で「今昔物語」を展示

「珍百景」と並んで広報きほう最終ページ「今昔物語」は平成25年1月号から開始し、今回の相野谷橋で36回を迎えました。僕が担当させていただいたのは、17回の成川小学校からですが、気がつけば20回も作っていたんだと思うと、「思えば遠くへ来たもんだ」という気持ちになりました。

そして、ふるさと資料館では、現在「今昔物語」の展示コーナーが設置されており、9月いっぱいまで、これまで広報で紹介してきた記事が、第1回から展示されています。また、ふるさと資料館では、昔使われた農機具や生活用具、大里地区で発掘された羽山地遺跡の陶磁器など町の歴史に関する資料が数多く展示されていますので、一度訪れてみてはいかがでしょうか。



今昔物語 35点を展示

【ふるさと資料館】
開館時間：午前9時30分から午後2時45分
休館日：月曜日、火曜日（ただし、その日が祝日の場合は開館となり、その翌日が休館となります。）

「今昔物語」や「珍百景」は住民の方からご連絡いただき写真や情報をいただくこともあります。何かネタはないかと町内を色々見てまわったり資料とらめっこしたりしつつ何とか絞り出しながら作っています。今後これらのコーナーを続けていくためにも、ぜひ「面白いもの見つけた」「こんな写真を持ってこよう」とありましたら、広報係までご連絡をお願いします。

（広報は50冊以上作って 愛野 裕基）

